



5-1 国際交流の促進

5-1-1
現状と課題

平成7年8月、森鷗外の縁で姉妹都市縁組の締結を行った本町とベルリン市中央区は、中学生の相互交流や民間グループの相互訪問などを行い着実な交流を続けてきました。そして、平成17年には節目となる10周年記念式典が行われ、町長以下関係者がベルリン市中央区を訪問しました。

中学生の交流は、次代を担う人材の育成という観点から、平成14年3月に木部、津和野両中学校とペロリーナ高等中学校との間において姉妹校縁組を結び交流を続けてきましたが、平成18年5月には新たに日原中学校を加え姉妹校縁組の調印が行われました。

このほか、津和野町議会や津和野町国際交流協会などの交流やドイツ語会話教室の開設など住民と一体となった交流も行われています。

国際交流の意義としては異文化に接することによる相互理解があげられますが、国際化時代に対応可能な人材育成の貴重な機会であり、行政中心の交流から民間交流を含めた活動の輪の広がりが期待されます。

また、隣国である中国や韓国を中心とするアジア諸国との交流も民間組織を中心に進めていくことが今後の課題といえます。

5-1-2
施策の体系

政策項目	施策項目
国際交流の促進	(1) 学生交流の推進 (2) 民間交流の推進

5-1-3
方向と目標

(1) 学生交流の推進

森鷗外の縁により平成7年から始まったベルリン市中央区との学生の相互訪問を中心とした交流は、市町村合併や財政状況の悪化によって姉妹都市交流が疎遠になる市町村が多いなか、非常に稀有な存在となっています。

今後も、次代を担う学生たちに国際的視野と感覚を身に付けてもらうため、学生交流の継続を図ります。

(2) 民間交流の推進

姉妹都市交流の5周年目にあたる、平成12年に町内の有志により津和野町国際交流協会が結成されました。協会では結成時にベルリン市中央区を訪問したのをはじめ、町と協力して本町を訪れる学生やベルリン市民の受

5-1-4 アクション プログラム

け入れを行っています。今後は、町との協働の推進により草の根交流の推進を図ります。

実施事務事業等の概要								
事務事業等の内容	実施主体	前期実施事務事業					展望計画	備考
		19	20	21	22	23	24~28	
学生の相互訪問	教育委員会	○	○	○	○	○	○	
姉妹都市交流15周年記念式典	情報企画課				○			
民間のベルリン市中央区訪問	国際交流協会					○		

5-2 文化交流の推進

5-2-1 現状と課題

700年の歴史に培われた本町は、歴史と文化の町として多くの観光客が訪れていますが、国民の観光に対する意識の変化とともに、他の国内の観光地と同様に入り込み数の低迷が続いています。

このことから、従来から行われている近県学校音楽大会や津和野踊り（盆踊り）などを積極的にPRし、文化的資源として活用することにより交流人口の増加を図るとともに、交流を続けている鳥取市鹿野町や北九州市などとの文化的、人的交流の一層の進展を図る必要があります。

5-2-2 施策の体系

政策項目	施策項目
文化交流の推進	(1) 文化的交流の推進 (2) 人的交流の推進

5-2-3 方向と目標

(1) 文化的交流の推進

半世紀以上も続いている、近県学校音楽大会の一層の充実を図るとともに、この大会の前後で行われている民間主催のコンサートなどを積極的に支援するとともに、姉妹都市縁組の調印を行っているベルリン市中央区から一流の音楽家を招聘するなど積極的な文化交流の推進を図ります。

(2) 人的交流の推進

本町に縁のある方々の協力を得て、芸術文化・スポーツの短期講座を開催するなど人的交流を推進し、町民の文化意識の向上を図るとともに、人的ネットワークを構築します。

5-2-4 アクション プログラム

実施事務事業等の概要								
事務事業等の内容	実施主体	前期実施事務事業					展望計画	備考
		19	20	21	22	23	24~28	
人づくり事業による文化的交流	教育委員会	○	○	○	○	○	○	
津和野縁のネットワークづくり	情報企画課			○	○	○	○	